

2018年5月28日
凸版印刷株式会社

凸版印刷、観光立国を共創する新拠点

日本各地にある国宝や重要文化財、観光資産の魅力を先端表現技術で世界に発信する
地方創生・観光立国の共創拠点「NIPPON GALLERY TABIDO MARUNOUCHI」を新設

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金子眞吾、以下 凸版印刷)は、日本各地にある国宝などの文化財や史跡、観光資産の魅力を最先端の表現技術を用いて体験できる、情報発信と価値創造の共創拠点「NIPPON GALLERY TABIDO MARUNOUCHI」(以下 本施設)を2018年6月7日に新設します。

凸版印刷は本施設の機能を活用し、官公庁、自治体、観光関連団体・企業との共創により日本文化の魅力を世界に発信し、訪日外国人客の増加による地方創生・観光立国の実現に貢献。政府が目標とする2030年の訪日外国人数6,000万人達成に向け、関連事業の拡大に注力していきます。



「NIPPON GALLERY TABIDO MARUNOUCHI」の外観

■ 本施設新設の背景

世界各国において情報政策が進められている中で、文化遺産や史跡など、文化情報の保存・活用にも注目が集まっています。特に、欧州連合(EU)において公共文化施設の所蔵作品デジタルアーカイブのオープンデータ化が義務付けられた2013年の法改正は、その顕著な例として知られています。

日本には2000年を超える歴史があり、国宝・重要文化財指定史跡は13,166件(※2018年5月1日現在)に及んでいるにも関わらず、その多くがデジタルアーカイブされていないのが現状です。地方創生・観光立国で訪日外国人の増加を目指す日本にとって、食事や宿泊などのホスピタリティだけでなく、有形無形の文化財をデジタルアーカイブし、その魅力を世界に向け発信することが重要な社会課題となっています。

凸版印刷は1997年から文化財のデジタルアーカイブデータの公開手法としてVR技術を用いた「トッパン VR」の開発に取り組み、これまでに国宝を含む国内外の重要文化財をテーマとしたVR作品を50本以上製作。2007年には、いち早く4K超高精細VRの開発・公開を行い、近年では12KVRやヘッドマウントディスプレイなど次世代VRの開発に取り組んでいます。また全国の文化・観光資産のコンテンツ化においても、グループ全体で350件以上の実績があります。

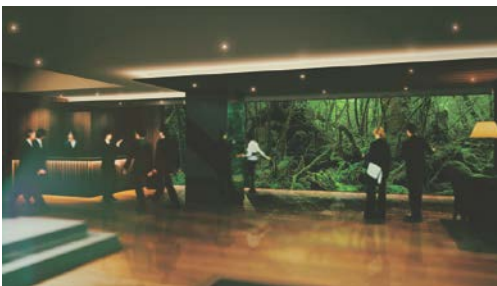
今回、この実績・ノウハウを活かし、日本における文化コンテンツのデジタルアーカイブを推進する拠点として本施設を新設。日本文化の魅力を世界に向けて発信し、理解を深めることで地方創生・観光立国の実現に貢献していきます。

■ 本施設の目的

凸版印刷は本施設の機能を活用し、新たなビジネスやプロジェクトを共創していきます。

- (1) 産官学連携で文化資産や観光情報をアーカイブしデータベースを構築、世界に向け情報を発信
- (2) 高精細 LED ウォールや VR、4K・8K映像、プロジェクションマッピングなどの先端表現技術を用い、日本が持つ全国の文化・観光コンテンツのデジタル体験を提供
- (3) 未来の新しい観光の形をデザインし、地方創生を牽引する人財育成を支援

■ 本施設の詳細



① オリエンテーション ラウンジ / ライブラリー

エントランスを入ると、高さ 2.7m×幅 10m の高輝度・高精細 LED ウォールに美しい日本の風景を投影し、来場者を出迎えます。また、日本各地の文化財や観光資源、名産品にまつわる写真集、書物、複製を集めたライブラリーを設置。書棚には8Kモニターを設置し、超高画質 VR 映像も上映しています。



② ツーリズムギャラリー

日本全国の多様な地域で活用できる観光メディア手法を提案。全国の観光情報をデータベース化し、一覧して検索・閲覧できる大型サイネージや、プロジェクションマッピングなどを活用した展示手法を活用し、観光客がその地を何度も訪れたいよう地域の魅力を引き出しします。



③ VRシアター

4K3面カーブスクリーン方式を採用。没入感・臨場感あふれるバーチャルな日本文化体験を提供します。日本の文化財をテーマにしたトッパン VR 作品を通じ、その魅力をナビゲーターがライブで解説します。



④ VRテクノロジー ギャラリー

VRシアターで上演される「トッパン VR」のメイキングプロセスやデジタルアーカイブ技術と、高品位複製品の作成などその活用事例を紹介します。



⑤ スーパープレゼンテーションルーム

55 インチモニター16面を連動させた8Kディスプレイを採用。寺社、名勝、自然遺産、技術伝承・匠の技・伝統工芸など有形・無形に関わらない全国各地の観光資源を、臨場感のある高精細映像でプレゼンテーションできます。



⑥ イベントルーム

最大100名まで利用可能なイベントルームでは、各種セミナーやシンポジウム、ワークショップなどを開催。日本の文化を発掘し、新しい観光コンテンツの価値を創出するネットワーク拠点として活用していきます。

■ 本施設の概要

名称	NIPPON GALLERY TABIDO MARUNOUCHI
所在地	東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル 1F/2F
開所日	2018年6月7日
見学方法	完全予約制(※)

※ 本施設は当社お取引先限定でのご案内となります。

個人のお客さまや同業他社からのお申込はお断りさせていただく場合があります。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上